

1. 3 研究論文・小論文の書き方（国語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

獲得した情報を理解し、論理的に考察・分析し、その成果を文章化して他者に示すための、論文の構成のあり方、叙述方法を学ぶ。そしてその学習を踏まえ、課題研究として研究した内容を論文にまとめる。

(2) 研究開発の経緯

四月当初から評論文の要約に取り組み、得られた情報を論理的に表現する方法を学んだ。一学期、三学期末には、テーマを与え、自らテーマに沿った題材を見つけて小論文を執筆した。二学期末には、パラグラフライティングについて理解し、課題研究のレポートを論文の形式にまとめた。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は、獲得した情報を理解し、論理的に考察・分析を進める創造力・理解構成能力などの「科学リテラシー」を促すことができると考えられる。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH国語総合

対象生徒 普通科1年生徒 8学級

実施場所 本校 各教室

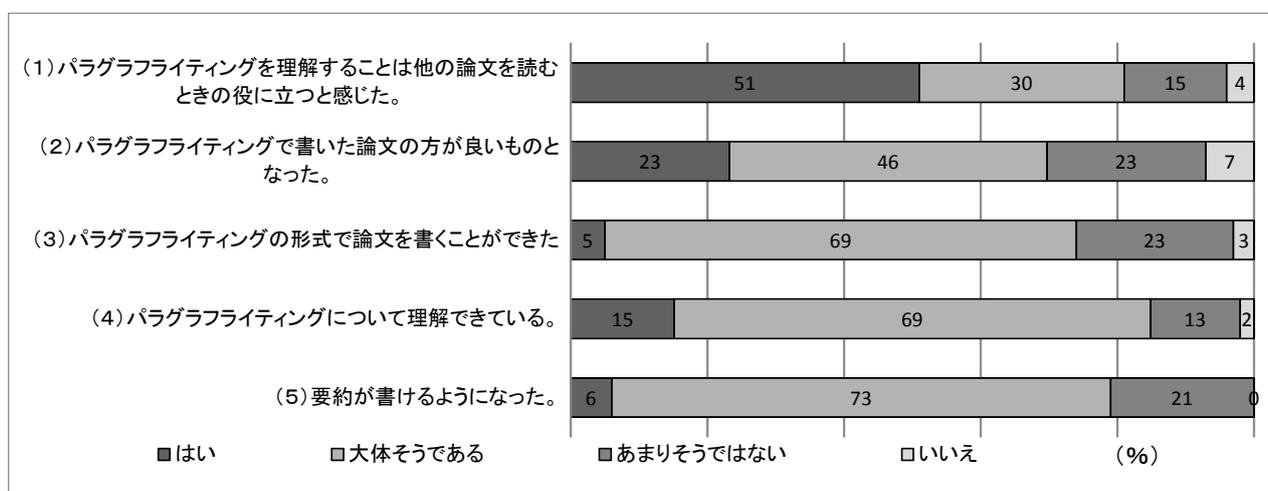
実施内容

1学期 評論文の要約およびテーマ型小論文の執筆

2学期 パラグラフライティングの書き方講習および課題研究論文の執筆

3学期 テーマ型小論文の執筆

ウ 検証（成果と反省）



生徒の感想の中には「自分の伝えなかったことを書き表せるようになった。」「トピックセンテンスを考え、内容のつながりを意識して文章を書くと、自分が得た研究結果のなかで、最も伝えたいことは何かを明確にすることができた。」などの感想があり、論文形式の文章の書き方を理解したと同時に、文章を書くことで、逆に研究内容を明確にすることができたようである。これらの感想からも、書くことが思考の深まりにつながり、論理的に考察・分析を進める創造力・理解構成力を高める、有意義な学習であったと思われる。

文章構成の方法は身についた一方で、論文内容はまだまだ不十分であり、問題意識の持ち方、仮説の立て方については引き続き丁寧な指導が必要であると思われる。